

会**社**概要 中期事業計画書

# 会社概要



# C// CENTER MOBILE

会社名

株式会社センターモバイル

代表取締役

中越 達也

資本金

3,070万円(資本準備金を含む)

所在地

大阪

設立

2020年6月2日

### コーポレートミッション

# ライフラインの 可能性を広げ、

# 新しい価値を創造する

消費者のニーズが多様化する現代。 情報格差により、家計の支出に格差が生じています。

我々はこの格差が最小限に留まるよう、新しい仕組みを創造します。

斬新な発想で、個人だけでなく社会全体に対し、貢献 していきます。

### 新世代格安スマホ New Generation SmartPhone



# 事業概要

• モバイル事業

店舗・オンライン販売を通して「毎月最大割引で0円」で使える携帯の販売

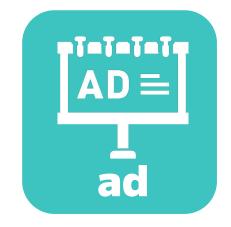
• 広告事業

特許出願中の技術を使い、携帯電話のビッグデータを集めることでユーザの興味にあった広告を配信

• 旅行事業

格安で旅行を提供・地方経済の活性化







### センターモバイルが実現したい社会

### 家計を圧迫している支出を削減する

携帯料金を最大0円まで割引することで、家庭の支出を削減。 削減されたお金は貯蓄・投資だけでなく消費にも回し、消費の活性化に繋げる。





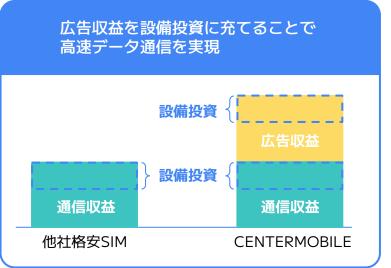
### 地域経済への貢献

格安で旅行ができるサービスを展開。 地方自治体のPRを無料で行うことで、観光客を集め、地域経済の活性化 を図る。

### センターモバイルの強み:モバイル事業

- 携帯料金を最大0円まで割引することが可能
- 広告収益を回線への設備投資に充てることで、通信速度の速い携帯を実現

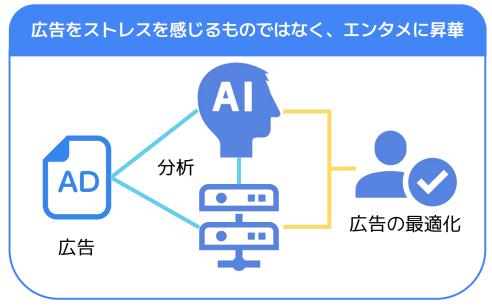




### センターモバイルの強み:広告事業

- 携帯電話のビッグデータを扱うことで、ユーザーが興味のある情報を提供することができる。
- ◆ オンリーワンのデータ活用システムを特許出願中





※1 令和3年版情報通信白書より制作したグラフ

※2 MMD研究所「2021年版:スマートフォン利用者実態調査」から引用

### センターモバイルの強み:旅行事業

- 新幹線最大42%割引·飛行機最大68%割引
- 携帯料金だけでなく交通費や宿泊を下げることにより、金銭的な理由で旅行できない方が旅行できるにようになり、**地域経済活性化**に繋がる



日帰り往復新幹線 最大42%OFF



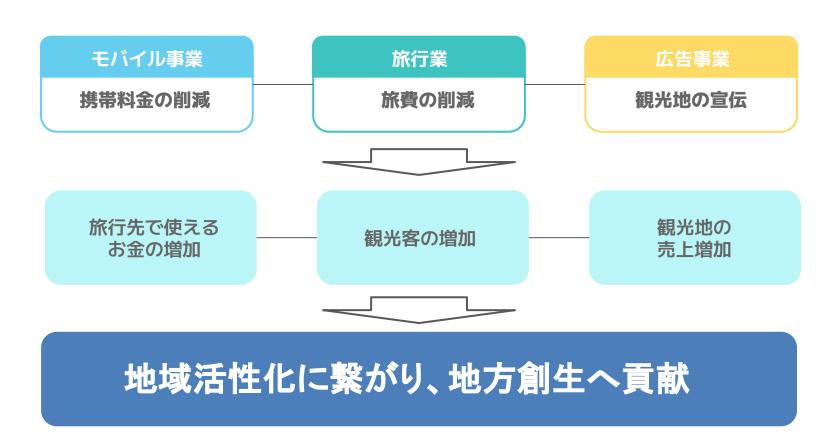
飛行機 最大68%OFF



レンタカー 最大25%OFF



### センターモバイルの強み





### 事業展開

#### フェーズ1

広告視聴やサービス利用でポイントを還元し、携帯料金を 毎月0円まで割引



#### フェーズ2

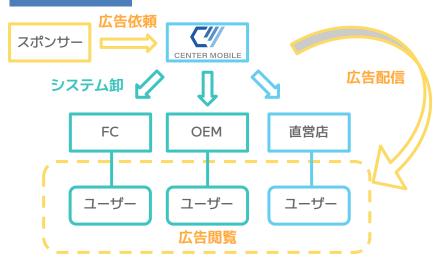
貯めたポイントが携帯料金だけでなく、旅行や他のサービスにも使用でき、日常生活におけるの支出の削減



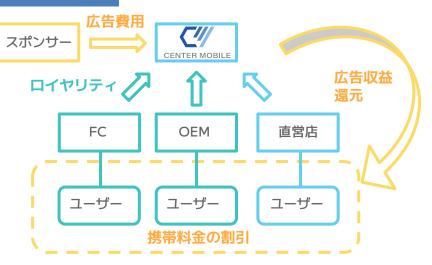
#### フェーズ3

基本料金無料の携帯サービスの 実現を目指す

#### サービスの流れ



#### お金の流れ



# 経営戦略

● モバイル事業・広告事業・旅行事業の3つをかけ合わせてユーザー数の増加を図ると共に、サービスの拡充を進める。

#### モバイル事業

フランチャイズや直営店の全国展開、取引先企業の契約数を拡大 今後ウェブ広告等でオンラインでの獲得を想定し、幅広い層へのアプローチを強化

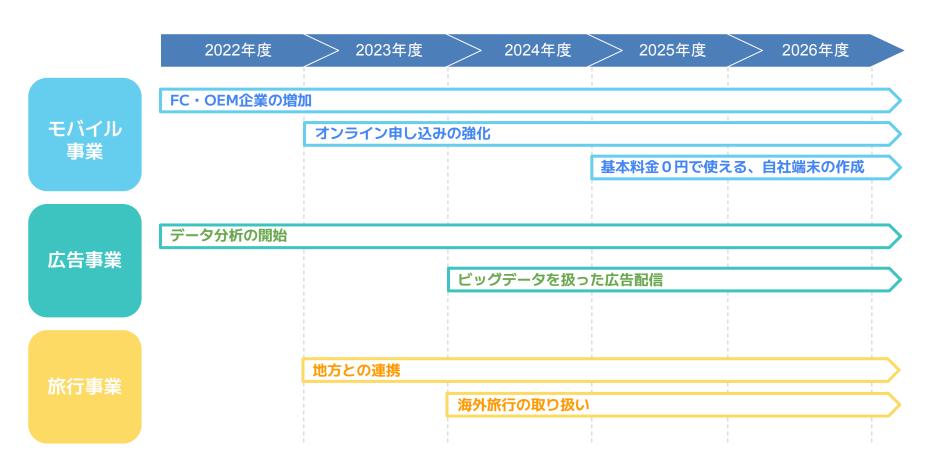
#### 広告事業

特許出願中の技術を生かした、データ解析の開始データ解析による適切なエンゲージメントの獲得

#### 旅行事業

地方との連携をすすめ、テストケースを構築 強みである価格面の強化をすすめ、提供価値の最大化を目指す

## 事業計画



CENTERMOBILE 会社概要 中期経営計画書

# 3 ビジョン・社会への取り組み

### センターモバイルのビジョン

- 携帯電話がテレビのように"無料で当たり前"の社会の創造
- 最多接触デバイスであるスマホのビッグデータをAI解析し、様々な分野で活用



基本料金0円の携帯電話の提供を目指す



## 社会貢献への取り組み

- 固定費である携帯料金への支出を抑え、社会全体の消費拡大を促し、日本経済の発展へ寄与する
- 地方自治体と連携し、観光名所や名物をスマホでPRすることで観光客を増加させ、地方創生へ貢献する





### 社会課題への取り組み



#### ライフラインの可能性を広げ、新しい価値を創造する



#### 解決したい 社会問題

- 日本の7人に1人が「相対的貧困」という状況におかれている ※日本財団「子供の貧困について」より引用
- 情報の格差によるライフラインに対する支出の不平等化

取り組み

- 携帯料金を0円にすることで、相対的貧困層のQOLの向上を目指す
- すべての人が携帯料金を無料で使える社会の実現を目指す

#### センターモバイルが貢献する「SDG's」目標



貧困をなくそう No Poverty

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困 に終止符を打つ



産業と技術革新の基盤をつくろう Industry, Innovation and Infrastructure

強靭なインフラを設備し、包摂的で持続可能な産業 化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

